

## 各拠点病院が取り組んでいるがん対策(令和5年度)

### 1. がんの予防

①生活習慣(喫煙) ②生活習慣(飲酒) ③感染症対策(HPV) ④感染症対策(肝炎) ⑤感染症対策(HTLV-1)

- ・禁煙外来の継続。
- ・コロナ禍で控えていた市民向けの講演を行い、予防、早期発見の普及啓発を図る。

### 2. がん検診

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について ②がん検診の精度管理等について ③受診率対策について

- ・コロナ禍で控えていた市民向け講演を行い、予防、早期発見の普及啓発を図る。
- ・うるま市など近隣市町村、近隣医療機関との連携を進める

### 3. がん医療提供体制

①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装

- ・グループ指定の地域がん連携病院への業務応援やカンファレンスを継続し離島のがん診療をサポートする。
- ・現在がんゲノム連携病院の申請準備中で、今年度途中から当院でもがん遺伝子パネル検査を受け付ける予定。離島の患者さんにも選択肢として検討頂けるように離島基幹病院とも連携を図っていく。→2023年8月1日～慶応大学病院と連携開始→9月中旬、1例目の検査を実施。今後、月に2～3件を目安に検査実施予定。院内での運用がスムーズにいけば翌年から主に中部地区からの受入れを開始し、以後、離島・北部地域からの患者さんも受入れを行う予定。がん遺伝子パネル検査の院外からの受入れ準備開始。→4月中旬かがらがん遺伝子パネル検査の院外からの検査を受け入れる予定
- ・次年度導入予定のロボット支援下手術の準備を行う。

### 4. 緩和・支持療法

①緩和ケア ②在宅療法 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法

- ・昨年度新設された緩和ケア外来の周知と各科との連携、及び訪問診療医との連携等により緩和医療の充実を図る。
- ・がんリハビリテーション研修に理学療法士を派遣し、県内のがんリハビリテーションの質の向上を目指す。
- ・緩和ケア研修会を10月14日(八重山病院共催)、12月9日(宮古病院共催)実施した。

## 5. 個別のがん対策

①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・へき地

・希少がんや難治がん患者の診療において、県内で中心的な役割を果たしていく。その際に国立がん研究センターの希少がんセンター等へのセカンドオピニオンやがん遺伝子パネル検査を有効に活用していく。

・妊孕性温存療法に関する情報提供を推進する。

・石垣・宮古地区にはグループ指定のがん診療病院としての連携を介して、北部地区の県立北部病院には医師派遣等を通して、離島・へき地のがん診療をサポートする。

## 6. 共生

①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④就労支援(医療機関側) ⑤就労支援(職場側) ⑥アピアランスケア  
⑦自殺対策 ⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭

・がん相談支援室の人員を増やし、より多くのがん患者にがん相談支援室が関わる体制を構築する。→電子カルテの更新時にカルテ上からがん相談支援室へ紹介できるようにした

・昨年度構築したオンラインによるがん相談は地域がん診療拠点病院の必須項目となっており今年度から運用していく。

## 7. 基盤

①研究の推進 ②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 ④がん登録の利活用の推進  
⑤患者・市民参画の推進

・コロナ禍で行えなかった市民啓発を目的としたイベントを企画する。